

# 両川地区



## 歴史

河川交通全盛時代には、北前船の寄港する新潟湊から会津や上州へ物資を流通させる船着場として、酒屋町を中心に繁栄しました。明治34年(1901年)、和舞、割野、嘉瀬、酒屋の4カ村が合併し、両川村となりました。信濃川と小阿賀野川の2つの川に接していることから、昔は「ふたがわ村」と呼ばれていました。昭和32年(1957年)5月3日、両川村は新潟市に編入合併しました。



## おすすめスポット

- ②舞平処理場附属休憩所  
浴室を備えた休憩施設です。大人(中学生以上)100円、小学生50円で入浴でき、大広間でくつろげます。
- ③西養寺の繫がや  
親鸞聖人越後七不思議のひとつ『繫がや』があります。カヤの実を数珠のように繫ぐための穴の跡があります。
- ④誓慶寺の焼ふな  
親鸞聖人越後七不思議のひとつ、「焼ふな」が誓慶寺に伝わっています。木の切り株にふな形が見えます。



## 特産品

**梨、ししとう、そらまめ**  
1781~1788年頃、両川の小阿賀野川が洪水で氾濫し、梨づくりに最適な、栄養をたっぷり含んだ土が両川地域に流れ込んできました。両川で栽培されている梨でもっとも多い品種は「二十世紀」で、全体の約50%を占めています。ほか、色合いのいいししとう「つばきグリーン」や、大粒で食味のよいそらまめ「打越一寸」も人気があります。



## 定期市

⑦酒屋二・七の市 酒屋市場組合 ☎280-2291  
明治16年(1883年)頃から始まった歴史のある市です。船着場を中心に発展し、近隣から多くの人々が集まります。2と7のつく日の、7時~13時頃に開かれます。



## まつり

- ⑤酒屋太々神楽と木遣 4月28・29日、8月29・30日  
明治初期に伝習された「太々神楽」は、八坂社・諏訪社合殿の春秋のお祭りに奉納されます。優雅な稚児舞6、格調高い大人舞6、計12の舞があり、新潟市の伝承芸能になっています。秋の大祭には、昼は馬簾、夜は田楽灯籠を出し、威勢のいい若者たちが、「酒屋木遣」に合わせて勇壮に押しまわします。
- ⑧割野祭のお籠人形 8月25日15時~26日17時  
割野「お籠人形」保存会 ☎280-3254  
江戸時代の明和年間(1764~71年)、諏訪社の祭礼にお花として飾り、以来、豊年の年に奉納されたと伝えられています。昭和38年(1963年)に廃止されましたが、平成11年(1999年)、残った人形に台をつけ、社殿に飾られました。

⑨ゆめ祭り酒屋 9月第2土曜(小雨決行)  
酒屋町商工会 ☎280-2240  
ステージイベント(演奏、キャラクターショー、郷土芸能)、遊びのコーナー(ミニSL、ふわふわ人形など)、飲食パザール、新鮮野菜・果物の販売を行います。また、イベントの最後に恒例の大福まき大会があり、人気を集めています。



**江南宣隊ユメレンジャー**  
☎280-2240  
(酒屋町商工会)  
江南区をPRするために結成されたユメレッド、ユメイエロー、ユメブルーの3人にドリーミー、悪の組織バクー帝国からの刺客Dr.ワーリガンから江南区を守るため日夜パトロールを続ける



**⑤酒屋太々神楽(八坂社・諏訪社合殿)**  
☎280-2207  
(酒屋神社御神楽保存会)  
☎江南区酒屋町424  
4月28・29日、8月29・30日



**④誓慶寺の焼ふな**  
☎280-2254  
☎江南区平賀210  
9時~17時 約8台  
焼ふなはお室内にあるため、要予約。聖人が関東へ出立される際の宴に出された焼いた鮓を池にはなしたところ生き返り泳ぎだしました。池のそばの榎に焼き鮓の姿が移ったものとされています。親鸞聖人七不思議の一つ



**③西養寺(繫がや)**  
☎280-2593  
☎江南区酒屋町530  
☎通年解放  
P9台  
備聖人に献上された、焼いた榎の実がなったというものです。榎の実には、糸で繫いだ跡が見受けられます。親鸞聖人七不思議の一つ



**②舞平清掃センター附属休憩所**  
☎280-7635  
☎江南区平賀161-1  
10時~17時(入浴11時~16時30分) 月曜(祝日の場合翌日)、祝日の翌日、8月13日~15日、12月29日~1月6日 P40台 大人(中学生以上)100円、小学生50円  
隣に舞平公園があります



**①江南区役所両川連絡所**  
☎280-2511  
☎江南区酒屋町821-8  
8時30分~17時30分  
土・日曜、祝日、年末年始 P10台